



株主の みなさまへ

第59期 第2四半期
営業のご報告

2019年4月1日～2019年9月30日



株式会社島精機製作所

証券コード: 6222

さまざまなマイナス要因が重なり、 主力市場で販売が減少し、厳しい業績結果となりました。



代表取締役社長
島 三博

Q1 上半期(2020年3月期)の業績について説明してください。

A1 事業環境が期初に想定した以上に悪化し、大幅な減収、赤字決算となりました。

上半期の業績は、大幅減収、赤字決算という非常に厳しい結果となりました。前年度から続く米中貿易摩擦の長期化などによる世界経済の先行き不透明感や、環境意識の高まりを背景に、アパレル業界の投資意欲が世界的に落ち込みました。その結果、横編機事業の主力市場である中国、 Bangladesh、ベトナムなどのアジア地域において、OEM型生産工場を中心に大量生産型のコンピュータ横編機の設備投資が低調となりました。設備投資マインドの低下は、近年中国市場を中心に順調に拡大していたホールガーメント®横編機にも影響し、販売台数が減少しました。低迷する市場環境を受けて、同業他社との価格競争も厳しさを増したことで、さらに上半期の平均為替レートが、ドル・ユーロとも期初想定より円高で推移したことなどで、横編機を中心に平均販売単価も期初想定より下落しました。これらの結果、連結売上高は、171億18百万円(前年同期比39.3%減)と大幅な減少となりました。

利益面においても、売上高が大きく減少したことに加えて、販売単価の下落や工場操業度の低下で売上総利益率が

悪化したことや、貸倒引当金繰入額の増加、開発試験研究費の増加などにより、営業損失は27億10百万円(前年同期は営業利益43億43百万円)となりました。また、円高の影響により、営業外費用として5億42百万円の為替差損を計上したことなどから、経常損失は28億99百万円(前年同期は経常利益46億28百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は20億61百万円(前年同期は純利益33億12百万円)となりました。

Q2 事業分野別の状況について説明してください。

A2 横編機主力市場における設備投資マインドの冷え込みから、新規受注が減少しました。

横編機事業では、主力の中国・東南アジア・バングラデシュなどの地域において、米中貿易摩擦や環境意識の高まりを背景に顧客の投資マインドが冷え込んだことで、横編機の販売が大幅に減少しました。前年度に中国市場で大きく販売台数を伸ばしたホールゲーム横編機も、中国国内経済の成長鈍化などを背景に、新規受注が低調となりました。

さらに中東のトルコにおいても、金融引き締めの影響により設備投資の停滞が続いており、イタリアを中心とした欧州市場でも、経済環境に対する不透明感から顧客の投資が低迷しました。

デザインシステム関連事業では、「SDS®-ONE APEX」シリーズは横編機の販売台数の減少に伴って、海外市場で売上が減少しました。一方、国内市場ではニット産業以外の市場に販売が広がり、前年並みの販売となりました。自動裁断機「P-CAM®」も、売上はほぼ前年並みで、国内外ともに自動車関連などの非衣料分野へ採用が進みました。

Q3 下半期以降の取り組みと業績見通しについて説明してください。

A3 引き続きホールゲーム横編機に対する潜在ニーズの掘り起こしに注力していきます。

世界経済の先行き不透明感が続いている厳しい現状ですが、当社としては下半期以降もこれまで同様、各国・地域のニーズに応じた提案活動を全世界で進めていく方針です。

これまでの地道な提案活動により、当社の高い優位性は、

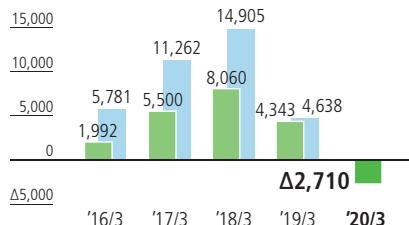
売上高

(百万円)



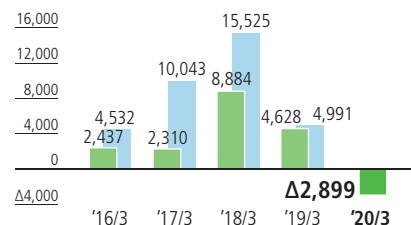
営業利益・損失(△)

(百万円)



経常利益・損失(△)

(百万円)



トップメッセージ

世界の多くの顧客に理解されていると認識しています。特に、これからの成長の柱と位置づけるホールガーメント横編機に関しては、各地の顧客にその可能性への理解が着実に深まっているという手応えを感じています。欧州や日本、韓国などで高付加価値のモノづくりを志向する顧客企業や、中国で続々と台頭しているSPA（製造小売アパレル）はもちろんのこと、バングラデシュやASEAN諸国、トルコ、インドなどでOEM型生産を行っている顧客企業も、無縫製生産のメリットを理解し、高い関心を持ち始めています。それらの地域でも、ホールガーメント横編機のエントリーモデルを中心に、提案活動をより強化し、ホールガーメント横編機への潜在的ニーズを地道に掘り起こしていきたいと考えています。

当期の通期連結業績予想については、売上高400億円、営業損失36億円、経常損失35億円、親会社株主に帰属する当期純損失24億円と、当初の計画を修正しました。

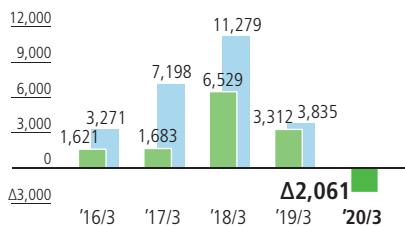
Q4 中長期的な事業展望について説明してください。

A4 転換期を迎えたアパレル産業に“あるべき未来”を提案し、持続的な成長を目指します。

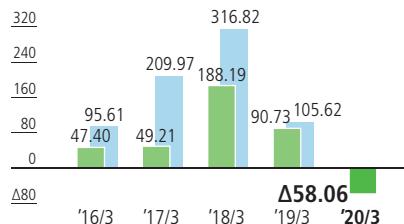
アパレル産業における環境への負荷低減という課題がクローズアップされ、商品の過剰生産や在庫数量を抑制する動きが顕著になってきており、業界では「いかにして持続可能な成長を実現するか」が最重要課題に浮上しています。2019年6月にスペイン・バルセロナで開催された世界最大規模の国際繊維機械見本市「ITMA 2019」においても「サステナビリティ」が統一テーマに掲げられました。当社はこの課題をいち早く認識し、数年前から持続可能なビジネスモデルへの転換に向けた提案を積極的に展開してきました。

現在、世界的に設備投資マインドが低迷しているのは、アパレル産業全体が転換期に差し掛かっていることの現れでも感じています。当社のホールガーメント横編機やデザインシステムは、消費者ニーズにマッチした商品を、消費地において、必要なときに、必要な分だけ生産できます。

親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益・損失(△) (百万円)



1株当たり四半期(当期)
純利益・損失(△) (円)



1株当たり配当金 (円)



また、それをバーゲンセールではなく正規価格で販売して、売れ残りや廃棄ロスをできる限りなくし、アパレル産業における望ましいビジネスモデルのための有力なツールであると確信しています。これからも中長期的な視点を持って提案を続けていきます。

Q5 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A5 これからも社員一丸となって、他にない価値を社会に提供し続けていきます。

中間配当金については、期初の発表通り一株につき20円で実施させていただきました。

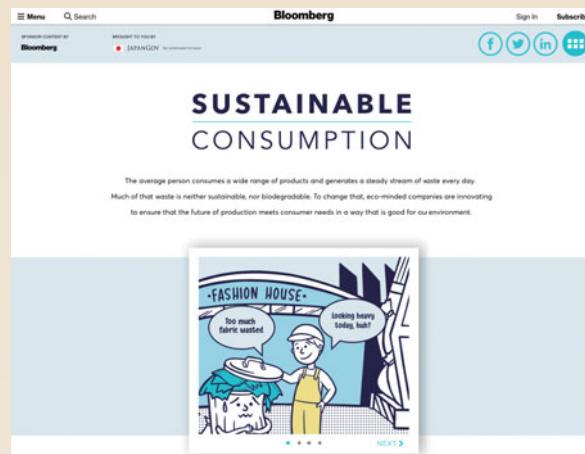
当期(2020年3月期)は、第2次中期経営計画「Ever Onward 2020」の2年目でもあります。数値目標は下方修正しましたが、質的な面では、多くの進捗がありました。今後も省人化・自動化を進め原価低減や経費削減に取り組み、収益力を強化する一方で、研究開発には積極的に投資していく方針です。他にない価値を社会に提供できる、独自性の高い製品・サービスがシマセイキの強みであり、存在意義だと考えています。これからも当社は、経営理念「Ever Onward—限りなき前進」のもと、新しい未来を創造できる、革新的な製品・サービスの開発・提供に社員一丸で取り組んでいきます。

株主の皆様には、引き続き当社への温かいご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

SDGs への取り組みを行う 先進的な企業として紹介されました

2019年9月に開催された国連SDGサミットに先立ち、SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みを行う先進的な企業の1社として、内閣府政府広報室の広報事業において当社が紹介されました。

アパレル業界における環境負荷の低減は、世界的な社会課題として認識されるようになってきています。この課題に対し、当社のホールガーメント®横編機とデザインシステム、その組み合わせによるソリューション提案は、生地のカットロスや縫い代を不要とし、また、リアルで高精細なバーチャルサンプルの活用によりサンプル作成の工程を省けるなど、持続可能な消費と生産を実現することができる日本の先進的な技術として掲載されました。



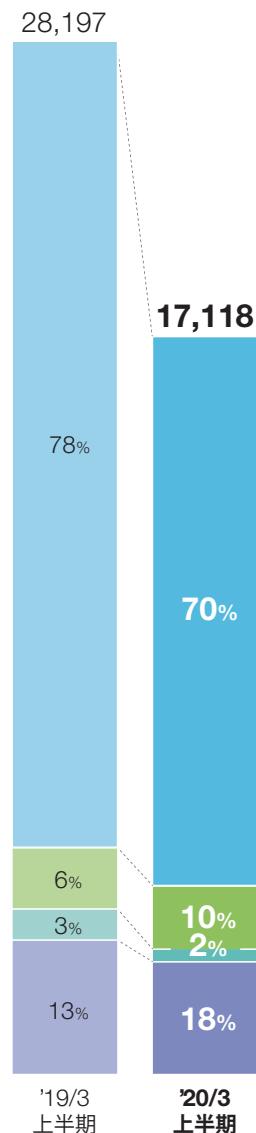
紹介ページ(英文のみ)

出典：<https://Bloomberg.com/ad/japangov/3dknitting/>

事業別のご報告

事業別売上高構成比

(百万円)



横編機事業

売上高 **119.1** 億円 [前年同期比 45.7% ↓]
 営業利益 **1.5** 億円 [前年同期比 97.6% ↓]



- 主力の中国・東南アジア・バングラデシュなどで、設備投資が低迷
- ホールガーメント®横編機も、中国経済の成長鈍化などで新規受注が減少

デザインシステム 関連事業

売上高 **17.8** 億円 [前年同期比 4.6% ↓]
 営業利益 **0.3** 億円 [前年同期比 92.2% ↓]



- 横編機販売の不振に連動して減少
- 自動裁断機は前年並み。海外市場において、販路を広げた

手袋靴下編機 事業

売上高 **4.0** 億円 [前年同期比 51.2% ↓]
 営業利益 **△0.3** 億円 [前年同期比 -]



- 大手ユーザーの設備投資が低調で、売上高減少

その他事業

売上高 **30.1** 億円 [前年同期比 15.5% ↓]
 営業利益 **3.5** 億円 [前年同期比 45.3% ↓]



- 部品販売やニット製品販売の落ち込みにより減少

4年に1度、開催される最大規模の繊維機械の展示会

ITMA 2019でアパレルの未来像を提唱しました

2019年6月、国際繊維機械見本市「ITMA 2019」がスペイン・バルセロナで7日間にわたって開催されました。当社は、「KNITify the World」(世の中のニット化)をスローガンに、アパレル産業の未来像を提示する斬新な提案を行いました。



サステイナブルなモノづくりや新たな仕組みを訴求

今回のITMA展の全体テーマとして「サステナビリティ」が掲げられており、当社も具体的な形でサステイナブルなモノづくりを実現する新機種やソリューションを提案しました。

新機種として、「New SVR®123SP」、「MACH2®VS」、「SDS®-ONE APEX4」などを発表しました。「New SVR 123SP」は、ジャカードで表現していた柄を天竺編みで表現することができ、糸の消費量を半分にするなどサステイナブルなモノづくりを可能にします。

その他、「SDS-ONE APEX4」をベースとした受注生産システムの提案や、糸の特性をデジタル化したWEBサービス(下コラム参照)等、アパレル業界をリードする生産プロセスの新たな仕組みを訴求しました。



ITMA 2019

2019年6月20日~26日

出展面積:114,500平方メートル

出展企業:45国・地域より1,700社以上

来場者: 105,000人以上



サプライチェーンをデジタルデータでつなぐ【yarnbank】構想を発表

yarnbankは、紡績メーカーと共同で開設する糸データのWEBサービスです。

紡績メーカーが提供する糸のデジタルデータを同サイトに登録しておくことで、ユーザーは自分のイメージに合った糸を手軽に検索・ダウンロードしてバーチャルサンプルに使うことができます。アパレル企業は多種多様な糸のデータをデジタル化する手間が省け、紡績メーカーも糸製品の新しい販促手法として活用できます。



特集：シマセイキ品質

シマセイキは、国内工場の一貫生産により 比類なきクオリティを実現し、生産性向上を追求しています

シマセイキの製品は、全て日本国内の本社工場で製造されています。部品から組み立てまでの一貫生産により、多種多様な製品を効率的に生み出すとともに、耐久性・安定性などの優れた品質を確保。世界中の顧客から高い信頼を獲得しています。



内製の強みを徹底的に追求

シマセイキグループでは、ネジをはじめ部品の大部分も自社工場で製造。内製化のメリットを徹底的に追求することで、他社に真似のできない高品質なモノづくりを可能にしています。

システムまで自社で製造

ないものは自ら創り出す——そのポリシーのもと、精密部品からコンピュータシステム基板、組み立てまで、全て社内での製造を推進しています。



Wakayama



国内生産

100%



和歌山から世界へ

創業以来、和歌山に本社・工場を置き、グローバルな事業を展開してきたシマセイキ。高い創造性を育む自然豊かな環境のなかで、全世界が求める製品が日々生み出されています。

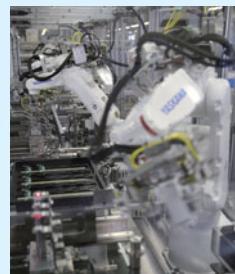


最高品質を支える匠の技

機械加工では難しい、高難度の作り込みを可能にするのがシマセイキの「匠の技」。全ての工程を一つの工場に集約しているからこそ最高品質を実現できるのです。

ロボット活用による生産合理化を推進

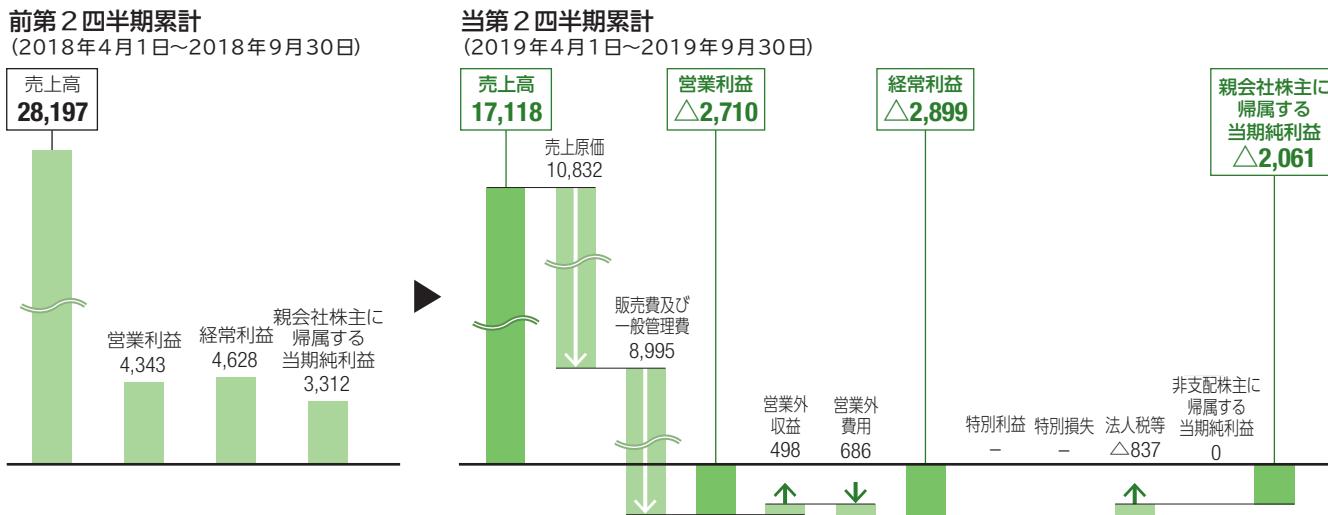
日本の労働人口減少が深刻化しているなか、無人搬送車の導入による工場内物流の自動化や、ロボットによる組立作業など生産現場のさらなる合理化にも取り組んでいます。ロボットと人間の最適な役割分担を進めることで、より高品質かつ高効率な生産体制の確立を目指していきます。





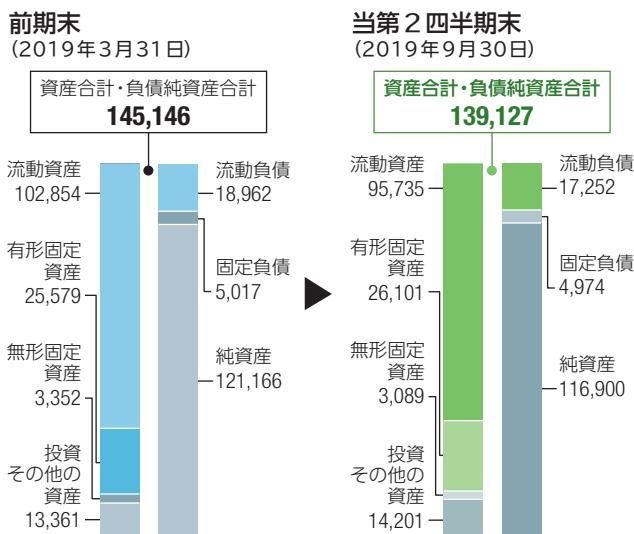
① 損益計算書の概要

(百万円)



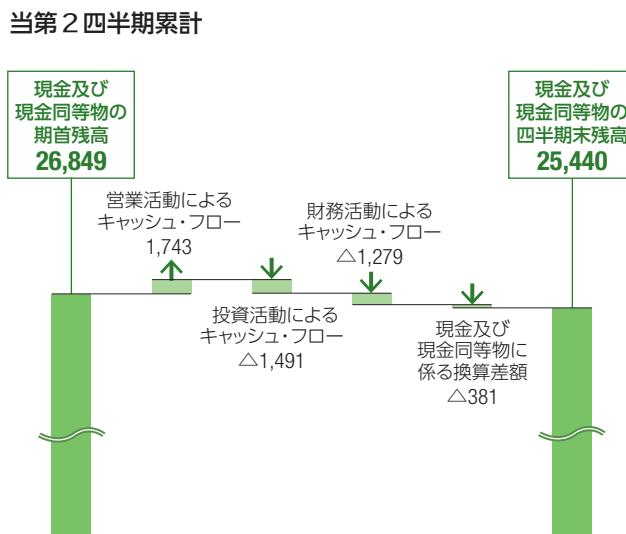
② 貸借対照表の概要

(百万円)



③ キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



会社概要・株式概要

会社概要 (2019年9月30日現在)

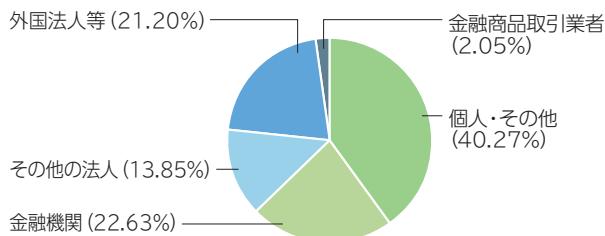
商号 株式会社島精機製作所
 (英文表記) SHIMA SEIKI MFG., LTD.
 本社 和歌山県和歌山市坂田85番地
 創立 1962年2月4日
 資本金 148億5,980万円
 従業員数 1,519名(連結2,055名)
 事業内容 コンピュータ横編機
 デザインシステム
 自動裁断機
 手袋靴下編機 などの開発、製造、販売

役員 (2019年9月30日現在)

地位	氏名	担当及び重要な兼職
代表取締役会長	島 正博	
代表取締役社長	島 三博	執行役員兼経営企画部担当
専務取締役	梅田 郁人	執行役員営業本部長兼 トータルデザインセンター担当
常務取締役	有北 礼治	執行役員資材部長兼 生産本部担当
取締役	南木 隆	執行役員経理財務部長兼 総務人事部、管理部、物流部担当
取締役	西谷 泰和	執行役員開発本部長
取締役	西川 清方	執行役員営業統括部長
取締役	一柳 良雄	株式会社一柳アソシエイツ 代表取締役&CEO/キャスター
取締役	残間 里江子	株式会社キャンディッドプロデューサー 代表取締役社長/プロデューサー
常勤監査役	植田 光紀	
常勤監査役	戸津井 久仁	
監査役	新川 大祐	北斗税理士法人 代表社員
監査役	野村 祥子	堂島法律事務所 パートナー弁護士

(注) 1. 取締役 一柳良雄、残間里江子の両氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役 新川大祐、野村祥子の両氏は、社外監査役であります。

所有者別分布



株式の状況 (2019年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数…………… 142,000,000株
 ②発行済株式の総数…………… 36,600,000株
 ③株主数…………… 15,066名
 ④大株主

(千株未満切り捨て)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
和島興産株式会社	4,020	11.32
株式会社紀陽銀行	1,472	4.15
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,097	3.09
島 正 博	1,070	3.01
島 三 博	1,061	2.99
CHASE NOMINEES RE JASDEC TREATY CLIENT A/C (GENERAL)	1,000	2.82
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	939	2.65
株式会社三菱UFJ銀行	880	2.48
合同会社和光	780	2.20
梅田 千景	632	1.78

(注) 1. 当社は、自己株式1,088千株を保有しています。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 基準日 3月31日
開催日 毎年6月

配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

公告方法 電子公告
下記当社ホームページに掲載
(<https://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告によることができない場合は、日本
経済新聞に掲載

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関する『マイナンバーお届出』のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。お届出をされていない株主様におかれましては、お取引の証券会社等へお届出ください。

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様
下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL:0120-094-777



株式会社島精機製作所
〒641-8511 和歌山市坂田85番地
TEL(073)471-0511(代表)
<https://www.shimaseiki.co.jp/>



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
見やすいデザインの文字を採用しています。



この報告書は環境にやさしい
ベジタブルインキを使用しています。



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

ホールガーメント及びWHOLEGARMENT等は株式会社島精機製作所の登録商標です。
この冊子に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または
商標です。